

地域福祉フォーラム プログラム

【平成30年2月24日（土） 志津コミュニティセンター大ホール】

総合司会：佐々木 とく子 氏（佐倉市地域福祉計画推進委員会会長）

時間	内容
13:30~13:40	【開 会】 ○主催者挨拶 佐倉市長 巖 和雄 ○来賓挨拶 佐倉市議会副議長 森野 正 様
13:40~15:25	【リレートーク】 (テーマ)「地域での支えあい・助けあい」 ～私たちにもできること・きっかけ～ ●登壇者（各15分） ○臼井・千代田圏域 臼井西中学校：ボランティア活動（様々な地域活動） →福祉教育と地域の関わり ○志津南部圏域 西志津スポーツ広場の会：朝のラジオ体操 →緩やかな見守りのつながり ○南部圏域 弥富地区社会福祉協議会：買い物支援 →買い物支援活動、地域の暮らしにくさの解決 ○佐倉圏域 ローズクラブ：地域住民がつながる →楽しみながら役に立つ・活動の継続性 ○志津北部圏域 志津地区社会福祉協議会：ふれ愛喫茶（常設喫茶） →活動の継続性・事業の拡がり（居場所→子ども支援） ●コーディネーター ○松崎 裕美子 氏（志津地区社会福祉協議会事務局長） ○谷野 宏輝 氏（佐倉市社会福祉協議会地域支援班班長）
15:25~15:30	○主催者挨拶 佐倉市社会福祉協議会会長 左奈田 雄一
15:30	【閉 会】

主催・問い合わせ

◇佐倉市 社会福祉課:484-6135

◇社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会:484-6033

グループのご紹介

臼井西中学校

臼井西中学校1年生のボランティア活動は、様々な地域活動と繋がることで、生徒たちは活動に取り組みます。いきいきクラブたぐりとの交流会、点訳サークル野菊の会による点字学習や、地区社協と連携した共同募金活動などがあります。共同募金活動は事前学習から始まり、実際に地区社協の皆さんと街頭に立って募金活動に取り組みます。生徒は募金学習を通して、住民の募金がどう使われ、地域に帰ってくるのかを学びます。

西志津スポーツ広場の会

西志津スポーツ広場の会は、西志津スポーツ広場を会場に、平成15年から朝のラジオ体操を始めています。子どもからお年寄りまで参加できる場として、地域に定着しています。毎朝顔を合わせる中で、挨拶が交わされる関係が構築されていきます。また、いつも来ている人がいない、と気づき、気になるようになります。そうした中で、お互いに気にかける関係、穏やかな見守りのつながりが作られていきます。

弥富地区社会福祉協議会

南部圏域（根郷・和田・弥富地区社協）の福祉課題の一つとして、移動困難な方への支援は必要不可欠となっていました。ともに歩むふくしプランⅢ（第5次佐倉市地域福祉活動計画）策定の作業部会で、デイサービスなどの施設車両を貸し出しして移動支援ができないか、といったアイデアが出され、検討会で準備を重ねたことが、弥富地区の買い物支援活動に繋がっています。検討すべき事項はたくさんありましたが、地区社協、施設、行政、南部包括、市社協で検証し、とにかくやってみよう、できる範囲で実施するという方向になりました。その後更に準備委員会を立ち上げ、先進地視察にも取り組み、模擬運行、事業実施となります。丁寧な準備をすることで、ニーズとサービス、地区社協と施設が繋がり、地域に暮らしていく中での暮らしにくさを解決していきます。

ローズクラブ

ローズクラブのモットーは『楽しみながら役に立つ』です。食事会や趣味サークル、講習会など住民が楽しくつながる催しを通じ、顔見知りを増やします。お互い様の気持ちで支えるやさしさと共に、困ったときにお願ひしますと言い出せる勇気を持つことを大切にしています。「緩いつながり」と「さりげなく気かけあう雰囲気」のある安心なまちを目指しています。自治会行事も中心的に担い、地域活動の力となっています。

志津地区社会福祉協議会

志津地区社協では、従来から実施していた100円喫茶のなかで、いつもあいている喫茶があればいいのに、という声を受けました。志津地区社協では拠点を確保し、志津ふれ愛センターとして喫茶と支えあい活動に取り組みました。その後、子どもたちへの支援に取り組み、と検討を始めましたが、その際すでにある拠点、志津ふれ愛センターで学習支援とこども食堂に取り組みこととしました。学習支援は毎週月曜日、こども食堂は毎月1回、開催しています。ここでは地域の子どもたちが、大人と繋がる場所として機能しています。